

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】 第 2 部門第 5 区分

【発行日】 令和 5 年 7 月 5 日 (2023.7.5)

【国際公開番号】 WO2022/130501

【出願番号】 特願 2022-569370 (P2022-569370)

【国際特許分類】

B 6 4 C 29/00 (2006.01)

B 6 4 C 27/24 (2006.01)

B 6 4 C 27/26 (2006.01)

B 6 4 U 10/25 (2023.01)

B 6 4 U 30/29 (2023.01)

B 6 4 C 11/00 (2006.01)

【F I】

B 6 4 C 29/00 A

B 6 4 C 27/24

B 6 4 C 27/26

B 6 4 U 10/25

B 6 4 U 30/29

B 6 4 C 11/00

【手続補正書】

【提出日】 令和 4 年 4 月 1 日 (2022.4.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

胴体 (12) と、

前記胴体の後部 (12r) の上部に接続される翼 (16) と、

前記胴体の中心軸線 (A) よりも右側と左側にそれぞれ配置され、水平方向移動時に推力を発生させるように構成される 2 つ以上の巡航用ロータ (22) と、

を備える航空機 (10) であって、

2 つの前記巡航用ロータは、前記翼の後方位置で前記翼に接続され、

前記航空機の正面視において、前記胴体の少なくとも一部と 2 つの前記巡航用ロータの少なくとも一部とが重なり合うオーバーラップ部分 (66) があり、

前記胴体の前記後部は、前方から後方に進むにつれて前記オーバーラップ部分の面積が徐々に小さくなるように、前方から後方に進むにつれて上方から下方に変位する傾斜面 (68) を有する、航空機。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の航空機であって、

前記胴体の前記後部は、2 つの前記巡航用ロータよりも下方の位置まで延びる、航空機。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の航空機であって、

左右方向及び上下方向と平行する前記胴体の前記後部の断面積は、前方から後方に進むにつれて徐々に小さくなる、航空機。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の航空機であって、
前記航空機の正面視において、前記翼の少なくとも一部と 2 つの前記巡航用ロータの少なくとも一部とが重なり合い、
個々の前記巡航用ロータの中心は、前記翼よりも下方に位置する、航空機。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の航空機であって、
2 つの前記巡航用ロータは、プロペラ（52）と前記プロペラを囲うダクト（54）とを有し、
2 つの前記巡航用ロータの前記ダクトは、互いに接続される、航空機。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の航空機であって、
揚力を発生させるように構成される複数の離着陸用ロータ（20）を備え、
複数の前記離着陸用ロータの少なくとも一部（20d）は、2 つ以上の前記巡航用ロータよりも後方に配置される、航空機。

【請求項 7】

請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の航空機であって、
前記翼は、右翼と左翼にそれぞれ動翼（36）を有し、
2 つの前記巡航用ロータは、左右の前記動翼よりも前記胴体側に配置される、航空機。

10

20

30

40

50